(責任者) (管理番号) (担当課) (基準日) **令和2年度** 03 05 04 01 003110000 警防課 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化

(予算費目名) 警防業務費

(総合計画体系)

「分野」 安全 安心 快適

どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。 30年後の姿

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

複雑・多様化している災害等に対して、迅速に対応できる消防防災体制を構築する。

◇関連するSDGsのゴール①貧困 ①都市 ③気候変動

◇政策のコスト(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算 決算	473,199	573,024				
決算	461,413					
人件費(A)	88,900	86,800				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	550,313	659,824				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
訓練計画に対する実施回数(単年:回)	□	目標	8000	8000	8000	8000	8000	8000
- 訓除計画に対する天旭回数(年午:回/	Ш	実績	7952					
車両更新台数(累計:台)	台	目標	25	30	35	40	45	50
平侧史制口数(糸司·口/ 		実績	26					
整備計画に対する地震対策消防水利設置基	基	目標	50	60	70	80	90	100
数(累計:基)	垄	実績	50					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

|複雑・多様化している災害等に対して、迅速に対応できる消防防災体制を構築するという政策実現の一翼を担っ た。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

進捗> 計画通り

多様化する災害に対応するため、緊急消防援助隊訓練をはじめ7,952回の訓練を実施し、職員のスキルアップを 計画的に行った。

地震対策としての消防水利について耐震性貯水槽100㎡型2基(40㎡型2基相当)、防火井戸6基を計画のとおり 設置した。

複雑化する災害に対応するべく救助工作車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、管理車2台及び広報車1台を更 新した。

(管理番号)

(担当課) 警防課

(責任者) (基準日) 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日 令和2年度 03 05 04 01 003110000

◇政策実現のために実施する事業一覧

											報酬	
	事業名	戦略	戦略	事業	了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	消防訓練事業					13,974	2,774	1.6				
2	消防防災施設等維持管理事 業			0		161,835	139,435	1.8	2.0	1.0		
3	消防防災施設等整備事業			0		351,784	340,584	1.6				
4	地震対策消防水利整備事業					94,080	88,480	0.8				
5	警防業務運営経費					38,151	1,751	5.2				
6	国際イベント警備支援事業				0							
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計					659,824	573,024	11.0	2.0	1.0		

公和の左伸	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基準日)	
71/11/41/12	03 05 04 01 003110000 01	警防課	太田 陽視	合和 2	在 7 日 1	В

事業シート (事業名) 消防訓練事業

◇事業目的·事業対象

- ・あらゆる災害に対応するため、訓練施設等を活用し消防技術の向上を図る。
- ・各種の合同訓練に参加し、大規模災害時における関係機関との連携強化を図る。

◇事業の概要

- ・訓練施設等を活用した災害の想定訓練を行い、消防活動技術を習得する。
- ・静岡県消防救助技術大会及び消防救助技術関東地区指導会等に参加し、訓練成果を確認する。
- ・緊急消防援助隊全国ブロック、関東ブロック及び中部ブロック合同訓練に参加し、災害への対応能力の強化及び関係機関との連携強化を図る。
- ・各種の専門的な研修に参加し、危機管理対策を含めた、防災知識及び消防活動技術の向上を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S46	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条•第44条	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)		予算	2,937	2,774				
		決算	2,609					
		国•県支出						
		市債						
		その他						
		一般財源	2,609	2,774				
		一般会計繰入金						
人件費	(報酬	州等) (千円)						
人	件費	(千円)	11,200	11,200				
		正規	1.6	1.6				
人工		再任用(h31)						
人工		再任用(h26)						
	会計4	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
1 貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4 教育			13気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長•雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

各種訓練等を実施することで、消防力の強化を図り、災害による被害を軽減する。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 01
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

◇事本の担	7示(ハゴ・生 ホ・	我四段心子の	え、110. 市心 口 午	以响 至个司			
	主な事業活	動•事業成果	指標(単位)		総合戦略		重点戦略No
			101年(十1年/		第1期	第2期	R1∼R4
	する実施回数	攻(単年:回)			_		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	8000	8000	8000	8000	8000	8000	8000
実績値	7431	7952					
	→ +> 市 类 江		作神(光)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は争未だ	」到"争未队呆	第1期	第2期	R1∼R4		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	→ +> 市 类 江	·····································	作神(光)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は争未だ	」	拍係(甲型)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	ナル声光 は		+15.4. (24.7.)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は事業活	f動·事業成果	拍惊(甲似)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	÷+>市業は	· 動·事業成果	七神(光子)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は事業活	」	111徐(平112)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

令和元年度の事業の概要

- ・訓練施設等を活用した災害の想定訓練を行い、消防活動技術を習得した。
- ・静岡県消防救助技術大会及び消防救助技術関東地区指導会等に参加し、訓練成果を確認した。
- ・緊急消防援助隊中部ブロック及び静岡県合同訓練に参加し、災害への対応能力の強化及び関係機関との連携強化を図った。
- ・各種の専門的な研修に参加し、危機管理対策を含めた、防災知識及び消防活動技術の向上を図った。

- 事業の成果と課題

指標の達成度

<u>計画通り</u>

- ・訓練施設等を活用した災害の想定訓練等を7,952回行い、消防活動に必要な技術を習得するよう努め、各隊及び各職員の技術力向上を図った。
- ・救助隊員及び使役等を含め、静岡県消防救助技術大会(陸上の部:42人、水上の部:18人)、消防救助技術関東地区指導会(10人)に参加した。
- ・緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練(15人)に参加し、災害への対応能力の強化及び関係機関との連携強化を図った。

・事業の見直し
 実施結果
 大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状
 ・既存の訓練施設及び過去の災害による教訓等を最大限に利活用した訓練を実施し、災害対応能力の向上を図った。
 今後の方向性
 大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状
 ・既存の訓練施設及び解体予定施設等を有効活用し、職員間でアイディアを出し合いながら想定される災害に対応する訓練を引き続き行う。

・関東ブロック及び中部ブロック及び県内で実施される緊急消防援助隊などの合同訓練に、今後も積極的に参加

し、関係機関との連携強化を図る。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 02
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 消防防災施設等維持管理事業

◇事業目的・事業対象

消防車両、消防用資機材及び消防水利の維持管理を行い、災害への即応体制を確保する。

◇事業の概要

〇消防車両維持管理事業

- ・消防車両に車検、点検及び修理を行い、常に良好な状態を保つ。
- ・消防車両を調査し、機能状態を把握する。
- ・消防車両の消耗品を購入し、適正な維持管理を行う。
- 〇消防用資機材維持管理事業
- 消防用資機材の法定点検及び修理を行い、常に良好な状態を保つ。
- ・消防用資機材を調査して機能状態を把握し、常に良好な状態を保つ。
- ・消防用資機材の消耗品を購入し、適正な維持管理を行う。
- 〇消防水利維持管理事業
- ・消防水利の修繕を行い、常に良好な状態を保つ。
- ・民地内にある消防水利の土地賃貸借契約を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S23	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条、消防法第 20条、道路運送車両法	_	_	0

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)		予算	178,836	139,435				
		決算	168,770					
		国·県支出						
		市債						
		その他	8,782	7,815				
		一般財源	159,988	131,620				
		一般会計繰入金						
		₩等) (千円)						
人	件費	(千円)	18,900	22,400				
		正規	1.3	1.8				
人工		再任用(h31)	2.0	2.0				
人工		再任用(h26)	1.0	1.0				
	会計4	再度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困		⑩不平等		
②飢餓		①都市	0	11.5
3保健		⑫生産•消費		
4 教育		13気候変動		
⑤ジェンダー		14海洋資源		
⑥水•衛生		15陸上資源		
⑦エネルギー		16平和		
⑧成長・雇用		⑪実施手段		
9イノベーション				

事業とゴールの関連性

消防防災施設等を適正に維持管理することで、災害への即応体制を確保し、災害による被害を軽減する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位) 第1期 第2期 第2期 第2期 第1期 第2期 第2期 第1期 第2期 第2	◇ 事本の別/	ホ (ハ) ・		え、ハロ・小心口 书	2007至个司巴			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		主か事業活	動•事業成里	指煙(単位)			施策体系	重点戦略No
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 第1期 第2期 R1~R4 R1~R4 R1~R4 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R6 日標値 100 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>第1期</td> <td>第2期</td> <td>R1~R4</td>						第1期	第2期	R1~R4
目標値 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 第1期 第2期 R1~R4 R5 R6 日標値 100 10	活動に影響を	及ぼす状態と	なっている消費	方車両の故障の	の修繕率(%)	-		
実績値 98.5 99 総合戦略施策体系 重点戦略No 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 消防用資機材の修繕率(%) R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 91 90 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 R4 R5 R6 R6 R6 B B B R4 R5 R6 R6 B B R4 R5 R6 R6 B B R6 B R6 B B R6 B B	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略No 第1期 重点戦略No R1~R4 消防用資機材の修繕率(%) R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 91 90 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 R1~R4 R1~R4 R1~R4 R1 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R6 B目標値 100 1	目標値			100	100	100	100	100
第1期 第2期 R1~R4 消防用資機材の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 91 90	実績値	98.5	99					
第1期 第2期 R1~R4 消防用資機材の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 91 90 第1期 第2期 R1~R4 活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10		→ /> 東 娄 冯	- 新. 車業式用	総合戦略	施策体系	重点戦略No		
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 実績値 91 90 総合戦略施策体系 重点戦略No 活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 71 75 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 R3 R4 R5 R6		工は事業だ	1到"尹未以木	第1期	第2期	R1∼R4		
目標値 100 10	消防用資機材	すの修繕率(%)					
実績値 91 90 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 実績値 71 75 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 第1期 第2期 R1~R4 実績値 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 R6 R6 R6	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略No 第1期 重点戦略No 第1期 活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 実績値 100 第1期 第2期 R1~R4 R6 R6 日標値 100	目標値	100	100	100	100	100	100	100
第1期 第2期 R1~R4 活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 100 10	実績値	91	90					
活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕率(%) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 100 100 100 100 100 100 100 100		→ +> 車 娄 汗	- 新. 車 坐 式 用	総合戦略	施策体系	重点戦略No		
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 100 <td></td> <td>土は尹未だ</td> <td>1到"争未队未</td> <td>1日1宗(平1江)</td> <td></td> <td>第1期</td> <td>第2期</td> <td>R1∼R4</td>		土は尹未だ	1到"争未队未	1日1宗(平1江)		第1期	第2期	R1∼R4
目標値 100 100 100 100 100 100 実績値 71 75 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	活動に影響を	及ぼす状態と	なっている消費	方水利の修繕	率(%)			
実績値 71 75 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 実績値 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 全度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 日標値	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 実績値 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 B1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 B1 R2 R3 R4 R5 R6	目標値	100	100	100	100	100	100	100
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 実績値 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 日標値 R1 R2 R3 R4 R5 R6	実績値	71	75					
# 1期 第2期 第1 第2期 第1 第2 第1 第1 第2 第1 第1 第2 第1 第2 第1 第2 第1 第2		→+>車 業 は	-新. 声光代用	七神(出法)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
目標値実績値 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 日標値		土は争未だ	1到"争未戍未	1日信(中1117)		第1期	第2期	R1∼R4
目標値実績値 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 日標値								
実績値 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 8	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略No 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 R0 R1 R2 R3 R4 R5 R6	目標値							
生な事業活動・事業成果 指標(単位) 第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 B1 B2 B1 B1 B1 B1 B2 B1 B2 B2 B2 B2 <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	実績値							
第1期 第2期 R1~R4 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値		→ +> 車 * ≒	一動。車業式用	総合戦略	施策体系	重点戦略No		
目標値		土は事果活	1 判" 尹未队未		第1期	第2期	R1~R4	
目標値								
	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実績値	目標値							
	実績値							

◇令和元年度の事業評価

令和元年度の事業の概要

- 〇消防車両維持管理事業
- ・消防車両に車検、点検及び修理を行い、常に良好な状態を維持した。
- ・消防車両を調査し、機能状態を把握した。
- 消防車両の消耗品を購入し、適正な維持管理を行った。
- 〇消防用資機材維持管理事業
- ・消防用資機材の法定点検及び修理を行い、常に良好な状態を保った。
- ・消防用資機材を調査して機能状態を把握し、常に良好な状態を保った。
- ・消防用資機材の消耗品を購入し、適正な維持管理を行った。
- 〇消防水利維持管理事業
- ・消防水利の修繕を行い、常に良好な状態を保った。
- 民地内にある消防水利の土地賃貸借契約を行った。

- 事業の成果と課題

指標の達成度

<u>計画通り</u>

- ・消防車両の機能状態を把握するように努め、故障等により消防活動に著しく影響を及ぼす又は及ぼす恐れがある状態となった車両の修理等を101件行い、車両を良好な状態で保持した。
- ・消防・救助活動に影響を及ぼす状態となっている資機材の修繕対応を18件行い、良好な状態を保った。
- ・活動に影響を及ぼす状態となっている消防水利の修繕対応を6件行い、良好な状態を保った。

・事業の見直し

- 尹未の兄旦し			
実施結果			
大項目 現状 小項目 - /	事業費	現状 人工	現状
・資機材及び消防水利について、必要な法定点検及び			
・消防水利の土地賃貸借契約について、所有者に対し	し、消防水利の必要性を促	₹えるとともに、市基	準額を上回っ
ている契約については減額交渉を行った。			
今後の方向性			
大項目 現状 小項目 /	事業費	現状 人工	現状
・はしご付消防自動車に係る梯子部分の分解点検業		が年度によって変わん	るものの、車
両・資機材・水利の維持管理事業を計画的に良好なキ			
引き続き未対応となっている消防水利の修繕及び民	ト地にある消防水利の土地	ク賃貸借契約を行い	、消防水利の
適正な維持管理体制を推進していく。			

△ 5500左曲	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基準日)	
节和2 年及	03 05 04 01 003110000 03	警防課	太田陽視	今和 2	在 7 日 1	Е

事業シート (事業名) 消防防災施設等整備事業

◇事業目的•事業対象

消防車両及び消防用資機材を計画的に整備し、災害への即応体制を確保する。

◇事業の概要

〇消防車両購入事業

- ・車両更新計画に基づき消防車両を更新する。
- 〇消防用資機材整備事業
- ・消防隊及び救助隊の活動において必要な資機材を整備する。
- ・隊員の安全確保及び消防力の維持のため、消防用資機材を更新する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S23	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条、消防力の 整備指針(告示)	_	_	0

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)		予算	213,796	340,584				
尹未貝(丁口)		決算	213,676					
		国·県支出	67,329	25,909				
		市債	83,000	280,100				
		その他						
	一般財 一般会計網		63,347	34,575				
		₩等) (千円)						
人	件費	(千円)	11,900	11,200				
		正規	1.7	1.6				
人工		再任用(h31)						
人工		再任用(h26)						
	会計4	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

-関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困		⑩不平等		
②飢餓		⑪都市	0	11.5
3保健		⑪生産・消費		
4教育		⑬気候変動		
⑤ジェンダー		14海洋資源		
⑥水•衛生		15陸上資源		
⑦エネルギー		16平和		
⑧成長・雇用		⑪実施手段		
9イノベーション		_		

事業とゴールの関連性

消防車両及び消防用資機材を計画的に整備し、災害への即応体制を確保することで、災害による被害を軽減する。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 03
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

<u> </u>			とくいし・小心 口 も	VHU 45.4.11 F			
	→ /> 東 樂 江	動·事業成果	七抽(出法)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は尹禾心	1到"争未风木	拍捺(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
車両更新台数	枚(累計:台)				-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	25	30	35	40	45	50
実績値	21	26					
	→ か 車 業 洋	動•事業成果	华捶(甾益)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	工位书未位	1到"尹未以木	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1~R4
消防用資機材	才整備率(単年	:%)					
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	98	100					
	立か 東 業 洋	動•事業成果	<u> </u>		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	工位于未记	到"争未况不	161未(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	主か 重業 活	動•事業成果	指煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エッチボル	130 千木从木	1日水(十二/		第1期	第2期	R1~R4
			1				
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値					()		
	主な事業活	動•事業成果	指標(単位)		総合戦略		重点戦略No
		7 -1377			第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 〇消防車両購入事業
- ・車両更新計画に基づき消防車両を更新した。
- 〇消防用資機材整備事業
- ・機能に支障がある消防用資機材を更新した。
- ・地域の実情に応じた消防用資機材を整備した。
- ・隊員の安全を確保するため、隊員保護用資機材を整備した。

・ 事業の成果と課題

指標の達成度

<u>計画通り</u>

- ・救助工作車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、管理車2台及び広報車1台の計5台を更新した。うち、救助工作車及び水槽付消防ポンプ自動車については、国庫補助事業を活用した。
- ・更新計画に基づき、消防ホース、空気ボンベ及び空気呼吸器等を更新した。

・事業の見直し

実施結果					
	小項目 国•県補助		出事業費現	<u>ь</u> і т	ᄪᅺ
7.7.	—	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		大 人工	現状
・国庫補助制度を活用し	、既存の更新計画にる	おける市単独事業を	を補助事業化した。		
・更新計画に基づき資機	材の整備及び更新を	行うことができた。			
		=:>			
今後の方向性					
大項目 現状	小項目	1	事業費 現物	犬 人工	1日11
		/			現状
・総務省や防衛省等のネ	浦助金の情報を集め、	今後も車両購入事	業の補助事業化に向	けて検討を済	進めていく。
・引き続き更新計画に基	づき消防ホース、空気	ボンベ及び空気四	吸器等を更新してい	〈 。	
			, C 20, 10 C C	••	

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 05
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 警防業務運営経費

◇事業目的·事業対象

- ・災害への即応体制を確保するため、消防業務を遂行するにあたり必要な免許・資格等を取得させる。
- ・安全運転に関する講習会へ職員を派遣し交通安全意識の向上を図る。

◇事業の概要

- ・安全運転管理者に安全運転管理定期講習会を受講させ、交通事故防止を図る。
- ・普通・中型・大型・はしご車の運転手(機関員)を養成し、交通事故防止を図る。
- ・救助活動等において瓦礫等の重量物を排除するためにクレーンや玉掛の資格を取得させる。
- 海外派遣が想定される国際消防救助隊登録隊員に狂犬病の予防接種を行う。
- ・水難救助業務を行う隊員に法令に基づく健康診断(高気圧業務検診)を受診させる。
- ・水難救助業務を行う隊員に潜水士の資格を取得させる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
H17	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条、道路交通 法第74条の3	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)		予算	3,022	1,751				
尹未貝(丁口)		決算	2,827					
		国·県支出						
		市債						
		その他						
一般		一般財源 一般会計繰入金	2,827	1,751				
人件費	世報	州等) (千円)						
人	.件費	(千円)	35,700	36,400				
		正規	5.1	5.2				
人工		再任用(h31)						
人工		再任用(h26)						
	会計	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

<u> </u>					
ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4教育			13気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長・雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

災害への即応体制を確保するため、消防業務を遂行するにあたり必要な免許・資格等を取得させ、災害による被害を軽減する。

令和2年度 (管理番号) (担当課) (責任者) (基準日) (基準日) (3 05 04 01 003110000 05 警防課 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

A 1.2/C.0.11				2年 圣不可臣	総合戦略	施策体系	重点戦略No
	王な事業活	動•事業成果	指標(単位)		第1期	第2期	R1~R4
中型•大型機	関員数(単年:	人)					
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	560	560	560	560	560	560	560
実績値	550	545					
	主か事業活	動·事業成果	指煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
			1日 (本 (土)立 /		第1期	第2期	R1~R4
	レーン受講者		1				
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5	5	5	5	5	5	5
実績値	5	5			60 4 20 = 5	15-45-11-	
	主な事業活	動•事業成果	指標(単位)		総合戦略		重点戦略No
t+l =# 77 50 =+					第1期	第2期	R1~R4
	情者数(単年:丿			5.5			20
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5	5	5	5	5	5	5
実績値	5	5			6小 人 ₩L mb	+	于 上 Wh m 友 N L -
	主な事業活	動•事業成果	指標(単位)		総合戦略		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7.00	112	112	110	101	113	110
実績値							
	<u> </u>	*****	15.12E (22 /L)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土な争業活	動•事業成果	指標(単位)		第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・安全運転管理者に安全運転管理定期講習会を受講させ、交通事故防止を図った。
- ・普通・中型・大型・はしご車の運転手(機関員)を養成し、交通事故防止を図った。
- ・救助活動等において瓦礫等の重量物を排除するためにクレーンや玉掛の資格を取得させた。
- ・海外派遣が想定される国際消防救助隊登録隊員に狂犬病の予防接種を行った。
- ・水難救助業務を行う隊員に法令に基づく健康診断(高気圧業務検診)を受診させた。
- ・水難救助業務を行う隊員に潜水士の資格を取得させた。

事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・車両の運行に必要となる運転手(機関員)の養成(普通23人、中型12人、大型9人、はしご14人)を概ね計画どおり実施した。
- ・小型移動式クレーン・玉掛講習の受講(各5人)を計画どおり実施した。
- ・海外派遣が想定される国際消防救助隊登録隊員に狂犬病の予防接種(3人)を計画どおり行った。
- ・水難救助業務を行う隊員(17人)に法令に基づく健康診断(高気圧業務検診)を受診させた。
- ・水難救助業務を行う隊員(1人)に潜水士の資格を取得させた。

・事業の見直し 実施結果 大項目 事業費 現状 現状 小項目 人工 現状 ・消防活動を行う上で必要な資格取得を計画的に行った。 今後の方向性 大項目 小項目 現状 事業費 現状 人工 現状

・大型車並びにはしご付消防自動車の運転手(機関員)を養成すること、小型移動式クレーン・玉掛の資格取得並びに潜水業務に必要な資格取得を継続実施すること、海外派遣が想定される国際消防救助隊に隊員を登録する際に必要となる各種予防接種を行うことなどを計画的に継続実施していく。

・免許の種類に応じた車両の大きさ等を検討するとともに、他都市の動向などを情報収集し、機関員資格者の養成方法の検討を行っていく。

△ 570左左	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基準日)	
市和2平及	03 05 04 01 003110000 06	警防課	太田 陽視	令和 2	年 7 月 1	F

事業シート (事業名) 国際イベント警備支援事業

【完了】

◇事業目的•事業対象

6月に開催されるG20大阪サミット及び9月に開幕するラグビーワールドカップ2019における消防特別警戒体制にあたり、開催地における消防・救急体制を確保する。

◇事業の概要

消防組織法第39条第2項に基づき応援協定を締結し、	G20大阪サミット及びラグビーワールドカップ2019にお
ける消防特別警戒体制にあたり、開催地における消防・	・救急体制を確保する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
R1	R1	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第39条	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)		予算	11,587					
尹未貝(丁口)		決算	11,585					
		国·県支出						
		市債						
		その他	11,585					
		一般財源						
		一般会計繰入金						
人件費	世(報画	州等) (千円)						
人	件費	(千円)	700					
		正規	0.1					
人工		再任用(h31)						
		再任用(h26)						
	会計	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困		⑩不平等		
②飢餓		⑪都市		
3保健		⑫生産•消費		
4教育		13気候変動		
⑤ジェンダー		14海洋資源		
⑥水•衛生		15陸上資源		
⑦エネルギー		16平和		
⑧成長・雇用		⑪実施手段		
9イノベーション				

事業	ナー	ї — .	11.0	ות	盟	連	性

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 06
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

* 1 PIG 17			之、NU.心口书	*··· == FII	総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土な事業活	動•事業成果	指標(単型)		第1期	第2期	R1∼R4
消防特別警戒	战体制達成率(%)					
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		100					
実績値		100					
	士 <i>†</i> ⊱車業符	·動·事業成果	华捶(甾益)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エな尹未だ	1到"尹未以木	拍捺(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	主か事業活	動·事業成果		総合戦略施策体系		重点戦略No	
	上で手木た	1到 爭未从不	1日1末(平立)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	主な事業活	動·事業成果	指標(単位)		総合戦略		重点戦略No
	T 0. 1. 20.75	1-21-2021	711 127 (-1-12-7		第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値					◇◇ ◇ ※ ▷ m友	+- /- /- /-	
	主な事業活	動•事業成果	指標(単位)		総合戦略		重点戦略No
			第1期	第2期	R1~R4		
年度	1120	D1	חב	D2	D4	DE	DC
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・ 令和元年度の事業の概要

6月に開催されたG20大阪サミット及び9月に開幕したラグビーワールドカップ2019において消防特別警戒体制にあたり、開催地における消防・救急体制を確保した。

- 事業の成果と課題

指標の達成度

<u>達成</u>

6月に開催されたG20大阪サミット及び9月に開幕したラグビーワールドカップ2019において消防特別警戒体制にあたり、開催地における消防・救急体制を確保した。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 04
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 地震対策消防水利整備事業

◇事業目的·事業対象

大規模地震発生時に予想される同時多発火災に備え、耐震性のある消防水利を設置し、消防隊、消防団及び自 主防災隊の消火活動の水源を確保する。

◇事業の概要

〇耐震性貯水槽設置事業

- ・大規模地震発生時、水利不足により延焼拡大の恐れがある地域に、10年間で40基の耐震性貯水槽を設置し、 一定の安全性を確保する。その後は、維持管理体制を確立し、必要に応じたスポット整備を推進していく。
- 〇防火井戸設置事業
- ・大規模地震発生時、水利不足により延焼拡大の恐れがある地域に、10年間で60基の防火井戸を設置し、一定の安全性を確保する。その後は、維持管理体制を確立し、必要に応じたスポット整備を推進していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S52	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条、消防法第20 条、消防水利の基準(告示)	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
市業弗/イ田)		予算	63,021	88,480				
事業費(千円)		決算	61,946					
		国•県支出	12,753	10,912				
		市債	49,000	77,300				
		その他						
		一般財源	193	268				
		一般会計繰入金						
人件費	会 報酬	等) (千円)						
人	件費	(千円)	10,500	5,600				
		正規	1.5	0.8				
人工		再任用(h31)						
人工		再任用(h26)						
	会計4	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

NE 7 0 - 72											
ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット						
①貧困	0	1.5	⑩不平等								
②飢餓			⑪都市	0	11.5						
3保健			⑫生産•消費								
4教育			13気候変動	0	13.1						
⑤ジェンダー			14海洋資源								
⑥水•衛生			15陸上資源								
⑦エネルギー			16平和								
⑧成長・雇用			⑪実施手段								
9イノベーション											

・事業とゴールの関連性

耐震性のある消防水利を設置し、消防隊、消防団及び自主防災隊の消火活動の水源を確保することで、災害による

被害を軽減する。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 01 003110000 04
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

<u> </u>	床(八)主///		2、110.110日书	以哈"本个司吗			
	まか 事業 活	動•事業成果	指煙(単位)		総合戦略		重点戦略No
					第1期	第2期	R1∼R4
	する地震対策	消防水利設置	基数(累計:基				
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	40	50	60	70	80	90	100
実績値	40	50					
	ナ か東業年	動•事業成果	均煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	工な事未た	1到"尹未以木	旧保(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	↑ ∤>車業は	動•事業成果		総合戦略施策体系		重点戦略No	
	土は争未だ	1到"争未风木	相保(单位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	→ /> 車 类 江	動•事業成果	作神(宋/·)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は争未だ	1到"争未风木	相保(单位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値			_	_	_		
	士 #: 車 ※ #	動•事業成果	性煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エは尹未だ	1到"尹未以朱	1日1示(平1工)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 〇耐震性貯水槽設置事業
- ・大規模地震発生時、水利不足により延焼拡大の恐れがある地域に、10年間で40基の耐震性貯水槽を設置し、 一定の安全性を確保する計画において、100㎡型2基(40㎡型2基相当)を設置した。
- 〇防火井戸設置事業
- ・大規模地震発生時、水利不足により延焼拡大の恐れがある地域に、10年間で60基の防火井戸を設置し、一定の安全性を確保する計画において、6基を設置した。

事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・10年で耐震性貯水槽40基、防火井戸60基の設置目標に対して、それぞれ耐震性貯水槽100㎡型2基(40㎡型2 基相当)、防火井戸6基を設置した。
- ・延焼危険性が高く、水利希薄地域において公有地を確保するのが困難である。

・事業の見直し 実施結果 大項目 現状 小項目 事業費 現状 人工 現状 ・大規模地震発生時において延焼危険性が高く、水利希薄地域の公園及び道路といった公有地を選定し、耐震 性のある消防水利の設置を行ったことで安全性の向上が図られた。 今後の方向性 大項目 現状 小項目 事業費 現状 人工 現状 ・地震対策消防水利を設置し、安全性の確保に努めていく。その後は、維持管理体制を確立し、必要に応じたス ポット整備を推進していく。 ・他部局が行う道路改良や用地整備などに同調して設置を行い用地確保に努める。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 内藤 康弘 令和 2 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化

(予算費目名) 救急業務費

(総合計画体系)

「分野」 安全·安心·快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 地域包括ケアが機能し、各組織が連携した街づくりが進展している。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

高規格救急自動車等の整備、救急救命士や救急隊員の養成と再教育、医療機関との連携強化を図り、適正な 応急処置と迅速な救急搬送を行うほか、市民と協働して救命効果の向上を図り、「自分の命と財産を自分で守る 意識の向上」を目指す。

◇関連するSDGsのゴール

	V												
①貧困	⑪都市	⑬気候変動											

◇政策のコスト(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	163,735	110,445				
決算	161,885					
人件費(A)	49,800	49,800				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	211,685	160,245				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
早期に治療が必要な重症以上の傷病者を病院	分	目標	30	30	30	30	30	30
に収容するまでの平均所要時間	'n	実績	34					
応急手当講習受講者のうち修了証等を発行する		目標	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
講習の受講者数		実績	6395					
救急車に乗務する救急救命士の数	ı	目標	120	120	124	128	132	138
		実績	118					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

高規格救急自動車等の整備、救急救命士や救急隊員の養成と再教育(病院実習)、医療機関との連携強化を図り、適正な救命処置と迅速な救急搬送を行うほか、市民と協働して救命効果の向上を図り、「自分の命と財産を自分で守る意識の向上」を目指す政策の一翼を担った。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- ・早期に治療が必要な重症(長期入院)以上の傷病者は34分で病院収容している。
- ・応急手当講習の修了証等を発行する受講者数が、6395人であった。
- ・短時間で必要な手技を習得できる救命入門コースやインターネットを活用したeーラーニング講習を推進し、受講者数の拡大を図ることが必要である。
- ・高規格救急自動車等の更新、救急救命士や救急隊員の養成及び再教育(病院実習)を実施し、救急活動の質の向上が図られているが、さらに救急救命士の養成が必要である。

(管理番号) 令和2年度 03 05 04 02 003110000 (担当課) 警防課

(責任者)

(基準日)

内藤 康弘 令和 2 年 7 月 1 日

◇政策実現のために実施する事業一覧

→ W	策実現のために実施する事				÷	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	総合戦略	点戦略	主要事業	元了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	救急体制整備事業			0		160,245	110,445	5.2	3.0			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計 工単価(千円)正規7,000 再任E						110,445					

△ €10/E #	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基	準日)		
节和2 年及	03 05 04 02 003110000 01	警防課	内藤 康弘	令和 2	年	7	月	1	E

事業シート (事業名) 救急体制整備事業

◇事業目的・事業対象

- ・市民への安全で安心な救急搬送を確保するため、救急自動車や高度救命処置用資機材の更新及び整備をする。
- ・適正な救急活動を行うため救急救命士及び救急隊員を養成する。
- 病院到着前の救護体制を強化し、救命効果の向上や傷病者の後遺症の軽減を図り、救急活動の質の向上を目指す。
- ・救急現場に居合わせた人による応急手当実施率の向上を図る。

◇事業の概要

〇救急高度化推進整備事業

- ・更新基準に基づき、高規格救急自動車や高度救命処置用資機材の更新及び整備を図る。
- ・救急救命研修所へ職員を派遣し救急救命士を養成する。
- ・県消防学校救急科へ職員を派遣し救急隊員を養成する。
- ・新たな特定行為である拡大2処置の認定救命士を養成し、病院到着前の救護体制を充実強化する。
- ・指導救命士を養成し、救急救命士を含めた救急隊員の教育研修を実施し、救急活動の質の向上を図る。○応急手当普及啓発事業
- ・救命リレーの第1走者となる市民への救命講習等応急手当普及啓発活動を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S22	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条、消防法第 7章の2	_	_	0

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
市業弗/イ四)		予算	163,735	110,445				
事業費(千円)		決算	161,885					
		国·県支出	46,833	1,320				
		市債	57,700	27,400				
		その他						
		一般財源	57,352	81,725				
		一般会計繰入金						
人件費	世(報酬	等) (千円)						
人	件費	(千円)	49,800	49,800				
		正規	5.2	5.2				
人工		再任用(h31)	3.0	3.0				
人工		再任用(h26)	1.0	1.0				
	会計의	再度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4 教育			③気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長・雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

適正な救急体制を整備することで、災害による被害を軽減する。

令和2年度 (管理番号) (担当課) (責任者) (基準日) (基準日) (内藤 康弘 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

Family	\vee $+$ \times \vee \vee \vee \vee	ホハ・モニ・	↑ ス、┉□ メメン バミ ┭┮ ノン	とく ハロ・小心 口 ギ		9 秋心十次/		
早期に治療が必要な重症以上の傷病者を病院に収容するまでの平均所要時間(分) - *** *** R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 30 30 30		- 土た車業は		上海(肖·		総合戦略	施策体系	重点戦略No
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 30		エは事未だ	1到"尹未戍未	1日1余(半1工)		第1期	第2期	R1~R4
目標値 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	早期に治療が必	要な重症以上の位	傷病者を病院に収	マ容するまでの平	均所要時間(分)	_		
実績値 33 34 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略第1期 救急車に乗務する救急救命士の数(人) - 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 120 120 124 128 132 138 実績値 115 118 第1期 第2期 R1~R 東倉庫 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 220 220 234 234 234 234 234 実績値 213 227 第1期 第2期 R1~R 市場 第2 R3 R4 R5 R6 日標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 第1期 第2期 R1~R R1~R R1 R2 R3 R4 R5 R6 報告戦略 事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 重点戦略 第2期 R1~R R1~R R1~R R2 R3 R4 R5 R6 R6 日標 R6 日標 R6 日標 <td>年度</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td>	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略 第2期 救急車に乗務する救急救命士の数(人) - 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 120 120 124 128 132 138 実績値 115 118 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 救急車に乗務する救急隊員の数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 220 220 234 <td< td=""><td>目標値</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td></td<>	目標値	30	30	30	30	30	30	30
株急車に乗務する救急救命士の数(人)	実績値	33	34					
救急車に乗務する救急救命士の数(人)		→ /> 東 娄 汗	- 新. 車業式用	华娅(肖杰)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 120 120 124 128 132 138 実績値 115 118 総合戦略施策体系 重点戦略 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 株舎戦略施策体系 重点戦略 124 128 132 138 東倉値 115 118 118 119		エクサネル	到"尹未以未	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
目標値 120 120 124 128 132 138 実績値 115 118 総合戦略施策体系 重点戦略 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 救急車に乗務する救急隊員の数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 220 220 234 234 234 234 234 実績値 213 227 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R R1~R R2 R3 R4 R5 R6 目標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 実績値 6204 6395 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6	救急車に乗務	子する救急救命	計士の数(人)			-		
実績値 115 118 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 救急車に乗務する救急隊員の数(人) R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 220 220 234 234 234 234 234 実績値 213 227 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 応急手当講習受講者のうち修了証等を発行する講習の受講者数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 90	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略 第2期 救急車に乗務する救急隊員の数(人) R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 220 220 234	目標値	120	120	120	124	128	132	138
Table Ta	実績値	115	118					
数急車に乗務する救急隊員の数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値 220 220 234 2		立か 車業 洋	- 動。車業成里		総合戦略	施策体系	重点戦略No	
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 220 220 234 <td></td> <td>エクサネル</td> <td>到"尹未以未</td> <td>1日1宗(平位)</td> <td></td> <td>第1期</td> <td>第2期</td> <td>R1∼R4</td>		エクサネル	到"尹未以未	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
目標値 220 220 234 <td< td=""><td>救急車に乗務</td><td>済する救急隊員</td><td>員の数(人)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	救急車に乗務	済する救急隊員	員の数(人)					
実績値 213 227 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 第1期 第2期 R1~R 応急手当講習受講者のうち修了証等を発行する講習の受講者数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 実績値 6204 6395 第2期 常2期 R1~R 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 日標値	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 第1期 重点戦略 第2期 応急手当講習受講者のうち修了証等を発行する講習の受講者数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 9000 <t< td=""><td>目標値</td><td>220</td><td>220</td><td>234</td><td>234</td><td>234</td><td>234</td><td>234</td></t<>	目標値	220	220	234	234	234	234	234
第1期 第2期 R1~R 京本 R2 R3 R4 R5 R6 R1 R2 R3 R4 R5 R6 R4 R5 R6 R4 R5 R6 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5 R5	実績値	213	227					
第1期 第2期 R1~R 応急手当講習受講者のうち修了証等を発行する講習の受講者数(人) 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 90		→ /> 東 娄 汗	F動. 車業式用	华娅(肖杰)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 実績値 6204 6395 総合戦略施策体系 重点戦略 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 日標値 R6		エクサネル	到"尹未以未	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
目標値 9000 9000 9000 9000 9000 9000 9000 実績値 6204 6395 総合戦略施策体系 重点戦略第十年 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 R6	応急手当講習	受講者のうち	修了証等を発	行する講習の受	是講者数(人)			
実績値 6204 6395 主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 総合戦略施策体系 重点戦略 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 R6	目標値	9000	9000	9000	9000	9000	9000	9000
主な事業活動・事業成果 指標(単位) 第1期 第2期 R1~R 年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値 B <	実績値	6204	6395					
年度 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6 目標値		ナか 重業 注	·····································			総合戦略	施策体系	重点戦略No
目標値		工位于未代	130 平木八木]百' 赤 (干 工 /		第1期	第2期	R1∼R4
目標値								
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実績値	目標値							
	実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

〇救急高度化推進整備事業

- ・更新基準に基づき、高規格救急自動車や高度救命処置用資機材の更新及び整備を図った。
- ・救急救命研修所へ職員を派遣し救急救命士を養成した。
- ・県消防学校救急科へ職員を派遣し救急隊員を養成した。
- ・新たな特定行為である拡大2処置の認定救命士を養成し、病院到着前の救護体制を強化した。
- ・指導救命士を養成するとともに、指導救命士が救急有資格者の教育研修を実施し、救急活動の質の向上を 図った。
- 〇応急手当普及啓発事業
- ・救命リレーの第1走者となる市民への応急手当普及啓発活動を実施した。

事業の成果と課題

指標の達成度

<u>遅れている</u>

- ・早期に治療が必要な重症(長期入院)以上の傷病者は34分で病院収容している。
- ・応急手当講習の修了証等を発行する講習を6395人に行った。さらなる受講者数の拡大を図るため、仕事帰りの会社員等をターゲットにした夜間に開催するeーラーニング講習を実施した。
- ・高規格救急車の更新、救急救命士と救急隊員の養成と再教育(病院実習)を実施した。

・事業の見直し

	<u> </u>								
実施結果									
大項目	現状	小項目	_	/		事業費	現状	人工	現状
					更新基準に基づき				
					救急救命士の養	成及び	再教育を実力	施した。さ	また、適正な葬
					の向上を図った。				
・市民への救	命講習等の)応急手当	é普及啓発活動	を手	ミ施した。				
今後の方向性	生								
大項目	現状	小項目		/		事業費	現状	人工	現状
・市民への安	全で安心な	救急搬送	を確保するため) , 5	更新基準に基づき	、高規格	S救急自動!	車を更新	する。
		—	, _ , , , , , , , , , , , , , ,		i士を計画的に養原	或する。	また、救急隊	遂員は各	·隊(一部の隊
			5234人を目途に						
				12	よる講習回数を増	やすとと	:もに、短時	間で必要	夏な手技を習
得できる救命			#CC 10	۰		·	D		
・引き続き、救	双急車を呼る	ド日安とな	る救急受診アス	ブリ	Q助の広報を行い	、適正な	「救急車の流	古用を促	していく。

(責任者) (管理番号) (担当課) (基準日) **令和2年度** 03 05 04 03 003110000 警防課 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化

(予算費目名) 航空業務費

(総合計画体系)

「分野」 安全 安心 快適

どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。 30年後の姿

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり ◆基本政策

◇政策の概要

航空消防体制を充実強化させ、消防ヘリコプターの機動力を発揮して、各種災害に対応し被害の軽減を図る。

◇関連するSDGsのゴール①貧困 ①都市 ③気候変動

◇政策のコスト(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	223,193	333,192				
決算	221,858					
人件費(A)	71,400	81,200				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	293,258	414,392				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
訓練実施回数(単年)		目標	130	130	130	130	130	130
		実績	53					
安全運航体制の強化【操縦士計器飛行証明所	ı	目標	0	2	2	3	3	3
持者】(人数)		実績	0					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

|消防ヘリコプターによる緊急運航を再開するため、現有操縦士(養成中の操縦士。以下「OJT操縦士」という。)の 操縦訓練を実施し、操縦技量の向上を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

進捗> 遅れている

- ・令和元年度中に2人操縦士体制が確立できなかったため、緊急運航再開を延期した。
- ・消防ヘリコプターによる操縦訓練(53回)及び地上での訓練(駐機訓練106回 ※上記指標の訓練実施回数に は含めない。)を行い、技量の向上に努めた。(消防ヘリコプターでの救急救助訓練等は未実施。)
- ・OJT操縦士及び令和元年度に採用した操縦士の型式限定資格取得訓練を実施した。

(管理番号) 令和2年度 03 05 04 03 003110000 (担当課) 警防課

(責任者) (基準日) 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇政策実現のために実施する事業一覧

	策実現のために実施する事				0	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	戦略	重点戦略	事業	了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	消防航空隊運営事業		0	0		414,392	333,192	11.2			1.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計 計 工単価(壬円)正規7,000 再任!						333,192				1.0	

△ ₹50左≠	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基	準日))		
令和2年度	03 05 04 03 003110000 01	警防課	太田 陽視	令和 2	在	7	日	1	В

事業シート (事業名) 消防航空隊運営事業

◇事	業	目	的•	事	業	삷	象
$\sim T$	$\overline{}$	_	нј	-	ᆽ	^ 1	20

消防ヘリコプターの効果的な活用により、救急を含む市内全域の災害に対し被害の軽減を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点事項項目No.170】

・悪天候により視界不良となった場合においても飛行継続及び回避行動を可能とするため、操縦士に計器飛行 証明を取得させ、安全運航体制の強化を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
H21	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	_	0	0

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
		223,193	333,192					
争未賃(干円)		決算	221,858					
		国·県支出		43,932				
		市債		166,700				
		その他	430	1				
		一般財源	221,428	122,559				
		一般会計繰入金						
人件費	個婦)	₩等) (千円)						
人	件費	(千円)	71,400	81,200				
		正規	10.2	11.2				
人工		再任用(h31)						
人工		再任用(h26)						
	会計年	F度任用職員(人事課予算)		1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4 教育			③気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長・雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

<u>・事業とゴールの関連性</u>

消防ヘリコプターの安全運航かつ効果的な活用により、災害による被害を軽減する。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 03 003110000 01
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

▽⇒未の担	除 (N→. 里 从 -	拟哨取於牛は	ž、NU. 心口中	以哈· 本个司马	当取於十段/		
	ナ か事業活	動•事業成果	<u> </u>			施策体系	重点戦略No
		到"争未况未	第1期	第2期	R1∼R4		
年間飛行時間](累計:時間)		-				
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1200	1500	1800	2100	2400	2700	3000
実績値	979	1127					
	↑ ∤⊱車業洋	動•事業成果	华娅(肖杰)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エクサネル	1到"尹未以木		第1期	第2期	R1∼R4	
訓練実施回数	(単年:回)						
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	130	130	130	130	130	130	130
実績値	88	53					
	ナ か車業年	動•事業成果	<u> </u>		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	工な事未た	到"争未从未	161录(平位/		第1期	第2期	R1∼R4
消防・防災へ!	J応援機の受力	入れ体制の整 [,]	備状況(%)				
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100						
実績値	100						
	↑ ∤չ車業活	動•事業成果	华娅(肖杰)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エクサネル	1到"争未以未	1日保(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
安全運航体制	の強化【操縦	士計器飛行証	明所持者数】	(人数)			170
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		0	2	2	3	3	3
実績値		0					
	ナか車業は	動•事業成果	<u></u>			施策体系	重点戦略No
	工な事未た	130 尹未以朱	第1期	第2期	R1∼R4		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

令和元年度の事業の概要

【R1~R4重点戦略項目No.170】

- ■安全運航体制の強化【操縦士計器飛行証明取得】
- ・計器飛行証明取得に向けて、操縦士のシミュレーターによる飛行訓練を実施する。
- OJT操縦士の操縦訓練を行う。
- ■消防航空隊運営維持管理事業
- ・消防ヘリコプター、消防ヘリポート施設等の運営及び維持管理を行う。
- ■消防航空隊安全運航事業
- ・OJT操縦士の型式限定取得訓練を実施し、型式限定資格を取得する。
- ・令和元年度に採用した操縦士の型式限定取得訓練を実施する。

- 事業の成果と課題

指標の達成度

<u>遅れている</u>

- ・運航再開を延期したため、年間飛行時間の300H(実績148H)及び消防ヘリコプターによる訓練回数は目標値130回(実績53回)に達しなかった。
- ・計器飛行証明取得及び操縦技量確認のため、操縦士のシミュレーターによる飛行訓練を実施した。

・事業の見直し

<u> </u>			
実施結果			
大項目 現状 小項目 - / 事業	費 現状	人工	現状
・操縦士2人体制が確立できなかったため、消防ヘリコプターでの緊急運航に	実施していな	にい。	
・操縦士2人の型式限定取得訓練を実施した。			
·消防ヘリコプター、消防ヘリポート施設等については適切に運営管理できた	0		
今後の方向性			
大項目 改善 小項目 人材育成 / 人材育成 事業	費 現状	人工	拡大
・操縦士2人体制での運航体制の構築を図り、消防ヘリコプターでの緊急運	抗を再開する。		
・安全運航体制を強化するために、運航安全管理者を新たに配置する。			
West 0	1 7		
┃・消防ヘリコプター及び消防ヘリポート施設等の適切な維持管理と運営に努	める。		
・消防へリコブター及び消防へリポート施設等の適切な維持管理と運営に努 	り る。		

△ 402年世	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基	準日)		
〒和2平及	03 05 04 03 003110000 01	警防課	太田 陽視	令和 2	年	7	月	1	B

補助シート (事業名) 消防航空隊運営事業

◇【R1~R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

	~R4】争耒丄栓衣(No.:			
No.	R1	R2	R3	R4
170		·計器飛行証明所持者2 人採用		・1人計器飛行証明取得 見込み
00				

△ 4πο左曲	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基	準日)		
节和2 年度	03 05 04 04 003110000	警防課	太田 陽視	令和 2	2 年	7	月	1	Е

政策シート

(政策名) 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化

(予算費目名) 消防団車両費

(総合計画体系)

「分野」 安全 安心 快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

災害への即応体制を確保し、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現する。

◇関連するSDGsのゴール ⑪都市

◇政策のコスト(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	102,295	79,476				
決算	99,414					
人件費(A)	1,400	1,400				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	100,814	80,876				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
車両更新台数(累計:台)	台	目標実績	18 21	23	28	33	38	43
		目標 実績						
		目標実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

災害への即応体制を確保し、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現する政策の一翼を担った。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

計画通り

車両更新計画に基づき、また、車両の機能状態を調査した結果から更新する必要のある車両5台を購入更新し た。

(管理番号) **令和2年度** 03 05 04 04 003110000 (担当課) 警防課

(責任者) 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

(基準日)

◇政策実現のために実施する事業一覧

V -3/	政策実現のために実施する事業				-0	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	戦略	戦略	主要事業	了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	消防団車両整備事業					80,876	79,476	0.2		, ,		
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計 工単価(千円)正規7,000 再任月					80,876	79,476					

△4mo左曲	(管理番号)	(担当課)	(責任者)	(責任者)			(基準日)			
71/12年及	03 05 04 04 003110000 01	警防課	太田陽視	令和	2	年	7	月	1	B

事業シート (事業名) 消防団車両整備事業

◇事業目的·事業対象

災害への即応体制を確保し、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現する。

◇事業の概要

〇消防団車両維持管理事業

- ・消防団車両の車検、点検及び修理を行い、常に良好な状態を保つ。
- ・消防団車両を調査し、機能状態を把握する。
- ・消防団車両の消耗品を購入し、適正な維持管理を行う。
- 〇消防団車両購入事業
- •車両更新計画に基づき消防団車両を更新する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S23	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法第1条、道路運送 車両法	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
古光弗(イ田)		予算	102,295	79,476				
事業費(千円)		決算	99,414	·				
		国•県支出						
		市債	77,700	57,400				
その他 一般財源		その他						
		21,714	22,076					
	一般会計繰入金							
人件費	人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400					
人工		正規	0.2	0.2				
		再任用(h31)						
		再任用(h26)						
	会計4	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
1 貧困			⑩不平等		
②飢餓			①都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4 教育			13気候変動		
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長•雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

消防団車両を整備することで、災害への即応体制を確保し、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現する。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 04 003110000 01
 警防課
 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

O TAMOOTO	体(1) 上 主 灬 ·		とくいし・小心口 ギ		当以小、十一人			
	→+>車業 は	·事業成果	151年(出)		総合戦略	施策体系	重点戦略No	
	土は尹未が	1到"尹未戍未	11徐(中位)		第1期	第2期	R1∼R4	
車両更新台数	(累計:台)				-			
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値	13	18	23	28	33	38	43	
実績値	16	21						
	·動·事業成果	総合戦略	施策体系	重点戦略No				
	土は事未足	」到"争未以未	第1期 第2期		R1∼R4			
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値								
実績値								
	→+>車業 は	 5動·事業成果	作神(忠)		総合戦略施策体系		重点戦略No	
	土は尹未が	1到"尹未戍未	11徐(中位)		第1期	第2期	R1∼R4	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値								
実績値								
	→+>車業 は	 5動·事業成果	15年(現代)		総合戦略	重点戦略No		
	土は尹未戊	1到"尹未戍未	11徐(中位)		第1期	第2期	R1∼R4	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値								
実績値								
	ナか 東 業 温	 5動·事業成果	総合戦略	施策体系	重点戦略No			
	エは事未込	1到"尹未戍未	1日保(半江)		第1期	第2期	R1∼R4	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値								
実績値								

◇令和元年度の事業評価

• 令和元年度の事業の概要

- 〇消防団車両維持管理事業
- ・消防団車両の車検、点検及び修理を行い、常に良好な状態を維持した。
- ・消防団車両を調査し、機能状態を把握することに努めた。
- ・消防団車両の消耗品を購入し、適正な維持管理を行った。
- 〇消防団車両購入事業
- ・車両更新計画に基づき消防団車両を更新した。

・ 事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・計画に基づき消防団車両を5台更新した。

令和2年度 03 0	(管理番号) 5 04 06 003110000	〔担当 警防			責任者) 田 陽視			達日) 7 月	1 日
政策シー		i信·指令体	制、救急	急体制、	航空消防	体制、消	火•救助	体制のタ	定実強化
		費目名)フ	k道名	を指令	出金				
(総合計画体系)		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		3 H I /	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>				
「分野」	安全·安心·快適								
30年後の姿	どこでも安全、いつまでも	安心、持約	売可能で	—— ご快適な	まちにな	っている	0		
10 年後の目標	災害、犯罪、事故など	の危険から	5、自分	の命と	財産を自治	分で守る	意識を身	身に付け	 ている。
	居住エリアの集約化な	どが進み、	、コンパ	゚クトなぎ	きちづくりだ	が進んで	いる。		
—————————————————————————————————————	 いつでも、どこでも、迅速	的確に対応	たするほ	 当尽士。 数	鱼休制づ				
<u>▼本不収</u> ◇政策の概要		はいはにしていか	יייסיילטי	767 73		<u> </u>			
	せ、火災への即応体制を研	確保する。							
◇関連するSDGsの	カゴール								
①貧困 ①都	市 ③気候変動								
◇政策のコスト(千円)	R1	R	2	R3	R4	F	25	R6
予算		99,784	110,	021					
決算 人件費(A)		98,042 700	2,8	00					
報酬(B)		700	2,0	00					
年間経費(予算又	は決算+A+B)	98,742	112,	821					
◇政策の指標									
	政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
			目標						
_			実績目標						
			実績						
			目標実績						
人会和二年度の	お茶部は(みなの無悪)	\	夫 棋						
	政策評価(政策の概要) せ、火災への即応体制を		<u> </u>						
◇令和元年度の	政策評価(政策の進捗・	·課題)							
<u><進捗></u> 計	<u> 画通り</u>		. 7						
に用い水利を充足さ	せ、火災への即応体制を研	催保できてし	いる。						

(管理番号) **令和2年度** 03 05 04 06 003110000 (担当課) 警防課

(責任者) 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

(基準日)

◇政策実現のために実施する事業一覧

	策実現のために実施する事				-	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	戦略	戦略	主要事業	了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	水道事業会計負担金					112,821	110,021	0.4				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計 工単価(千円)正規7,000 再任月					112,821	110,021	0.4				

公和7年	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基準E])		
71/11/2平没	03 05 04 06 003110000 01	警防課	太田陽視	令和 2	年 7	月	1	В

事業シート (事業名) 水道事業会計負担金

\wedge	車	業	\Box	州	. 7	₽	뽀	54	吞	
< >	╼	耒	\blacksquare	H١		₩.	悪	Х·I	豕	

◇事業の概要

- ・消火栓の設置及び管理に要する経費を負担するため、水道事業会計へ負担金として支出する。
- ・当該工事場所への消火栓の必要性について、水道事業管理者と協議する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
S33	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防法第20条、消防水利の 基準(告示)、水道法第24条	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
古光弗(イ田)		予算	99,784	110,021				
事業費(千円)		決算	98,042					
		国•県支出						
		市債						
		その他						
		一般財源	98,042	110,021				
		一般会計繰入金						
人件費	(報酬	州等) (千円)						
人	件費	(千円)	700	2,800				
		正規	0.1	0.4				
人工		再任用(h31)						
人工		再任用(h26)						
	会計4	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

- 関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4 教育			③気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長・雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

消防水利を充足させ、火災への即応体制を確保することで、災害による被害を軽減する。

(管理番号) (担当課) (責任者) **令和2年度** 03 05 04 06 003110000 01 警防課 太田 陽視 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4·重点戦略最終年度, R6·総合戦略・基本計画最終年度)

◇争業の指	標(K4:里点!		E、Kb: 総合期	【略•奉本計四	画		
	→ ∤> 市 娄 ≒	f動·事業成果	七神(出人)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は争未だ	到"争未成未	1日信(中1117)		第1期	第2期	R1∼R4
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
		C新. 声类片田	比描(出法)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は争未込	f動·事業成果	拍惊(平14)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	☆ か車業は	f動·事業成果	均煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エクサネル	到"尹未以未	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	☆ か車業は	f動·事業成果	均煙(単位)		総合戦略	重点戦略No	
	工は事末に	到"尹未以未	1日1末(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	主か事業は	f動·事業成果	指煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	工场带来几	功,中未从未	1日 水 (十 工 /		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・消火栓の設置及び管理に要する経費を負担するため、	水道車業会計へ	(負担金と)で支出した。
/H 八 イff V/ ng 日 /X () 日 /ff c マ カ () 日 / 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1		>貝担金として又出した。

・ 事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・消火栓の設置及び管理に要する経費を負担するため、水道事業会計へ負担金として支出した。 ・当該工事場所への消火栓の必要性について、水道事業管理者と協議した。

[・]当該工事場所への消火栓の必要性について、水道事業管理者と協議した。

確保していく。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 6
 03 05 04 07 003115000
 情報指令課
 坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化

(予算費目名) 情報指令費

(総合計画体系)

「分野」 安全·安心·快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

〇消防情報通信ネットワーク事業

あらゆる緊急通報に迅速・的確に対応し、効率的かつ効果的な消防部隊運用を図るため、指令管制システムを中核とする消防情報システムの継続的な保守体制の確立と消防救急デジタル無線の効率的な運用、更新及び新規設置した高所監視カメラの有効活用を行います。

また、ICT新技術を活用し、音声による緊急通報困難な方の通報手段としてNet119を導入するとともに、調査・研究を継続し、指令業務の体制強化を進める。

◇関連するSDGsのゴール

<u> </u>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	,,,				
①貧困	⑪都市	①気候変動				

◇政策のコスト(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	228,752	246,827				
決算	218,786					
人件費(A)	219,520	219,520				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	438,306	466,347				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
災害通報受付から出動指令までに要した時間	分	目標実績	2 1.1	2	2	2	2	2
		目標 実績						
		目標実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

〇消防情報通信ネットワーク事業

あらゆる緊急通報に迅速・的確に対応し、効率的かつ効果的な消防部隊運用を図るため、指令管制システムを中核とする消防情報システムの継続的な保守体制の確立とICT新技術の調査・研究を行い、指令業務の体制強化を進めた。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

○消防情報通信ネットワーク事業

指令管制システムを中核とする消防情報システムの保守点検等により、システムが正常に機能し、令和元年の総受信件数50,359件に対する通報処理を行い、24時間365日の正常なシステム稼働と円滑な指令業務が遂行できた。

(管理番号) 令和2年度 03 05 04 07 003115000

(担当課) 情報指令課 (責任者)

(基準日)

坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

◇政策実現のために実施する事業一覧

V 20	策実現のために実施する事				-	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	戦略	戦略	安事業	完了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	消防情報通信ネットワーク事業		0	0		466,347	246,827	31.0	0.7	(- /		
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計					466,347	246,827	31.0	0.7			

令和2年度 (管理番号) (担当課) (責任者) (基準日) (基準日) (本和2年度 03 05 04 07 003115000 01 情報指令課 坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 消防情報通信ネットワーク事業

◇事業目的·事業対象

市民等からの緊急通報の受付部門として、迅速・的確な受付け処理と指令管制を行うなどの総合的な情報管理体制を確立することで、災害等による被害の軽減を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.171】

- ・高所監視カメラの更新及び新規設置を行い、災害情報収集体制の強化を図った。
- 〇消防指令センター機能維持管理事業
- ・指令管制システムを中核とする消防情報システム、消防救急デジタル無線システムの効率的な運用及び維持管理を行い、迅速・的確な119番通報受付け処理と指令管制により、災害被害の軽減に努める。
- 緊急を要しない通報の軽減を広く呼びかける。
- ・高所監視カメラ及びヘリテレ(以下、「高所監視カメラ等」という。)による情報収集と出動隊への情報提供として映像情報を活用する。地震等大規模災害発生時には、高所監視カメラ等による津波警戒監視、被害の情報等を市危機管理センター及び県へ早期に配信し、情報の共有を図る。
- ・音声による緊急通報が困難な方の通報手段としてNet119の導入を行う。
- 〇消防情報·消防OA基盤整備事業
- ・消防OAシステム、情報基盤の維持、調査・研究により、情報通信管理の体制確立と高度情報化の進捗への対応を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
H19	_	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法•消防法	_	0	0

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
市 柴 弗 / エ 川 \	事業費(千円) 予算 油質		228,752	246,827				
尹未貝(丁口)		決算	218,786					
		国•県支出						
	市債							
		その他						
		一般財源	218,786	246,827				
		一般会計繰入金						
人件費	世(報酬	₩等) (千円)						
人	件費	(千円)	219,520	219,520				
	正規		31.0	31.0				
, , –	, т 再任用(h31)		0.7	0.7				
人工	人工 再任用(h26)							
	会計4	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑫生産•消費		
4 教育			③気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			14海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			16平和		
⑧成長・雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

市民や浜松市を訪れた人々が、誰でも同様な消防行政のサービスを受けることができるよう、災害への適応能力の強化などに対応するICT技術の活用や、様々な情報通信技術に対する情報収集を行うとともに、消防指令センター機器を最大限に活用し、119番通報から指令管制業務までの迅速で確実な対応を行い、災害被害の軽減に努めることが目標である。

令和2年度 (管理番号) (担当課) (責任者) (基準日) (基準日) (本和2年度) (3 05 04 07 003115000 01 情報指令課 坂口健次 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

▽ 事未の田・	(木(ハユ. 里 川	我叩取べ十万	ス、INU . 心心 口 刊	龙町 圣平司世			
	主な事業活	動•事業成果	指標(単位)			施策体系	重点戦略No
	エケデネル	130	101% (+12/		第1期	第2期	R1∼R4
消防情報システム	並びに消防・救急デ	ジタル無線システムの	の24時間365日の正	常稼働達成率(%)	-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
	→ /> 東 娄 汗	動•事業成果		総合戦略	施策体系	重点戦略No	
	土は尹未だ	」		第1期	第2期	R1∼R4	
119番通報の	総受信件数に	占める、緊急を	牛数割合(%)				
年度	H30	R1	R3	R4	R5	R6	
目標値	14	14	14	14	14	14	14
実績値	14	14					
	→ /> 東 娄 汗	動•事業成果	华捶(肖仏)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	土は尹未だ	」		第1期	第2期	R1∼R4	
情報収集体制	引強化率(%)						171
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		100					
実績値		100					
	→ /> 東 娄 汗	動•事業成果	华娅(肖杰)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エクサネル	到"争未以未	1日1宗(平1江)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	ナか 車 業 洋	動•事業成果	<u></u>		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エは尹未戊	130 尹未以朱	1日1示(平1工)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.171】

- ・高所監視カメラの更新及び新規設置を行い、災害情報収集体制の強化を図った。
- 〇消防指令センター機能維持管理事業
- ・24時間365日体制の指令管制システムを中核とする消防情報システムと消防救急デジタル無線システムの正常稼働を維持し、迅速・的確な119番通報受付け処理と指令管制により、災害被害の軽減に努めた。
- ・緊急を要しない通報の軽減を広く呼びかけた。
- ・高所監視カメラ及びヘリテレによる情報収集と出動隊への情報提供など、画像情報を災害活動に活用するとともに、大規模災害発生時(地震災害等)には、津波警戒監視、被害状況等の情報を市危機管理センター及び県へ早期に配信し、情報を共有する体制の維持に努めた。
- 〇消防情報·OA基盤整備事業
- ・他都市や関係機関との連携により消防が必要とする情報・通信技術の調査・研究を行った。
- ・消防業務用の携帯電話の更新等により情報基盤の維持、体制強化を図った。

- 事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 〇消防指令センター機能維持管理事業
- ・指令管制システムを中核とする消防情報システムの適正な維持管理により、令和元年の災害等総受信件数 50,359件を処理し、迅速な指令業務の遂行ができた。

また、消防音楽隊の派遣演奏や受付カウンター用椅子などを活用した広報により119番の適正な利用を呼びかけることで、緊急を要しない通報が当初の目標の範囲を維持できた。

- 〇消防情報·OA基盤整備事業
- ・他都市や関係機関との連携を図り、消防が必要とする情報・通信技術の調査・研究を行うことができた。
- ・消防業務用の携帯電話の更新等により情報基盤の維持や体制強化を行うことができた。

・事業の見直し

<u> </u>								
改善	小項目	統合•再構築	/		事業費	拡大	人工	現状
ジタル無線	に関して	、地域調査に。	よりデ	゛ジタル無線の7	Γ感や輻軸	奏などの分	析を継続	した。
改善	小項目	収集•分析	/	人材育成	事業費	拡大	人工	現状
続き、指令	管制シス	ステムの機能を	よりす	有効に活用して	いくため、	指令検定語	式験を行し	ハ、指令管制
実技の強化	比を図る。							
係機関への	ヒアリンク	がなど、積極的	な情:	報収集と調査分	析を行い	、今後の各	更新事業	削への反映を
	験を実施し、 ジタル無線 改善 続き、指令 実技の強化	改善 小項目 検を実施し、指令管制 ジタル無線に関して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	改善 小項目 統合・再構築	改善 小項目 統合・再構築 / 検を実施し、指令管制技術やシステム機ジタル無線に関して、地域調査によりデ 改善 小項目 収集・分析 / 続き、指令管制システムの機能をよりを実技の強化を図る。	改善 小項目 統合・再構築 / 検を実施し、指令管制技術やシステム機能に関する知識 ジタル無線に関して、地域調査によりデジタル無線の では	改善 小項目 統合・再構築 / 事業費 食を実施し、指令管制技術やシステム機能に関する知識、技能の ジタル無線に関して、地域調査によりデジタル無線の不感や輻射 改善 小項目 収集・分析 / 人材育成 事業費 続き、指令管制システムの機能をより有効に活用していくため、 実技の強化を図る。	改善 小項目 統合・再構築 / 事業費 拡大 検を実施し、指令管制技術やシステム機能に関する知識、技能の強化を図 ジタル無線に関して、地域調査によりデジタル無線の不感や輻輳などの分 改善 小項目 収集・分析 / 人材育成 事業費 拡大 続き、指令管制システムの機能をより有効に活用していくため、指令検定 実技の強化を図る。	改善 小項目 統合・再構築 / 事業費 拡大 人工 検を実施し、指令管制技術やシステム機能に関する知識、技能の強化を図ることがて ジタル無線に関して、地域調査によりデジタル無線の不感や輻輳などの分析を継続 改善 小項目 収集・分析 / 人材育成 事業費 拡大 人工 続き、指令管制システムの機能をより有効に活用していくため、指令検定試験を行し

△402年 年	(管理番号)	(担当課)	(責任者)		(基準日)	
令和2年度	03 05 04 07 003115000 01	情報指令課	坂口 健次	令和 2	年 7 月 1	В

補助シート (事業名) 消防情報通信ネットワーク事業

◇【R1~R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

<u> </u>	NTITA工作致(No		_	
No.	R1	R2	R3	R4
171	既設高所監視カメラ(アクト)の更新及び太平洋 宮士見平無線中継局鉄 塔への新規高所監視カメラの設置			
00				

(管理番号) (担当課) (責任者) (基準日) **令和2年度** 03 05 04 08 003115000 情報指令課 坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

政策シート

(政策名) 通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化

(予算費目名) 消防団無線費

(総合計画体系)

「分野」 安全 安心 快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり ◆基本政策

◇政策の概要

地域防災の要である消防団の無線を良好な状態に保ち、適正な維持管理を行うことにより迅速・確実な災害対 応を図る。

◇関連するSDGsのゴール①貧困 ①都市 ③気候変動

◇政策のコスト(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	2,534	1,985				
決算	2,523					
人件費(A)	8,080	8,080				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	10,603	10,065				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
消防団無線の24時間365日正常稼働	%	目標実績	100 100	100	100	100	100	100
		目標実績						
		目標 実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

地域防災の要である消防団の災害における情報通信体制を常に良好な状態となるよう適正に維持管理する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・良好な状態での無線機の維持ができ、災害現場で有効な活用が行われた。

(管理番号) 令和2年度 03 05 04 08 003115000

(担当課) 情報指令課 (責任者)

(基準日) 坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

◇政策実現のために実施する事業一覧

<u> </u>	策実現のために実施する事				Ū.	コスト	事業費		人	エ		報酬
	事業名	戦略	戦略	主要事業	了	(千円)	(千円)	正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	(千円)
1	消防団無線事業					10,065	1,985	1.0	0.3			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
	計					10,065	1,985	1.0	0.3			

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 08 003115000 01
 情報指令課
 坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 消防団無線事業

◇事業目的·事業対象

各種災害関係情報の収集及び伝達のため、消防団無線を良好な状態に維持する。

◇事業の概要

- ・消防団員が災害活動等において使用する無線機の機能を良好な状態とするため、修繕及び保守点検を実施する。
- ・常備消防波の傍受及び広範囲での無線通信を確保するため、消防団の無線機についても常備消防と並行して進めたデジタル無線機の効率的な運用を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合 戦略	重点 戦略	主要事業
H19	_	一般会計	自治事務(法令義務)	電波法、電波法関係審査基 準等	_	_	_

◇事業のコスト			R1	R2	R3	R4	R5	R6
市業弗/イ田)		予算	2,534	1,985				
事業費(千円)		決算	2,523					
		国·県支出						
		市債その他						
		一般財源	2,523	1,985				
	一般会							
人件費(報酬等) (千円)								
人件費 (千円)		8,080	8,080					
	正規		1.0	1.0				
人工		再任用(h31)	0.3	0.3				
		再任用(h26)						
	会計의	年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール		ターゲット	ゴール		ターゲット
①貧困	0	1.5	⑩不平等		
②飢餓			⑪都市	0	11.5
3保健			⑪生産・消費		
4 教育			③気候変動	0	13.1
⑤ジェンダー			⑭海洋資源		
⑥水•衛生			15陸上資源		
⑦エネルギー			⑯平和		
⑧成長・雇用			⑪実施手段		
9イノベーション					

事業とゴールの関連性

市民や浜松市を訪れた人々が、誰でも同様な消防行政のサービスを受けることができるよう、自然災害をはじめ各種災害に対する地域防災の要である消防団の使用する無線機を適正に維持管理し、常備消防と連携して、迅速で確実な対応を行い、災害被害の軽減に努めることが目標である。

 令和2年度
 (管理番号)
 (担当課)
 (責任者)
 (基準日)

 03 05 04 08 003115000 01
 情報指令課
 坂口 健次 令和 2 年 7 月 1 日

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

	14 (17 1. 1 17 17.		とくこと・小り口で	VMD 3574111			
	→ / / · 東 娄 冯	· 動·事業成果	华捶(肖恭)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	エクサネル	到"尹未以未	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
24時間365日	の正常稼働達	成率(%)			-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略	重点戦略No	
	工は事未だ	到"尹未以未	1日1宗(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	立た 東 業 洋	5動•事業成果	华煙(単位)		総合戦略	施策体系	重点戦略No
	工位于未加	1到"尹未以未	1日1示(平位)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略	重点戦略No		
	工位于未加	1到"尹未以未	1日1示 (平 区)		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
	主か事業は	5動•事業成果				施策体系	重点戦略No
	工物事未作	130 平木八木]百' 赤 (平 工/		第1期	第2期	R1∼R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

令和元年度の事業の概要

・消防団員が災害活動等において使用する無線機の機能を良好な状態とするため、修繕及び保守点検を実施した。

・ 事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・消防団員が災害活動等において使用する無線機の機能を良好な状態で維持ができた。
- ・常備消防との通信及び広範囲での無線通信を確保するため、無線機の効率的な運用ができた。

[・]常備消防との通信及び広範囲での無線通信を確保するため、消防団の無線機についても常備消防と並行して 進めたデジタル無線機の効率的な運用を図った。

・事業の見直し

_
実施結果
大項目 改善 小項目 改修・更新 / 事業費 現状 人工 現状
・修繕及び保守点検を効率的に実施し、無線機の運用を維持し、良好な状態で管理することができた。
・無線機の継続使用のため、再免許申請手続きを実施した。
今後の方向性
大項目 現状 小項目 その他 / 事業費 現状 人工 現状
・修繕および保守点検を実施し、無線機器を良好な状態で維持する。
・保守点検について無線機の運用を維持し、効率的に実施する。